

第2回 AAAL オートアフターマーケット活性化連合

活動報告会レポート

AAAL 情報委員会
小野田 裕繁

【概要】

2007年4月22日(火)に東京都港区にあるメルパルク東京にて“第2回 AAAL オートアフターマーケット活性化連合活動報告会”が開催されました。報告会には、同連合に加盟する各団体の代表をはじめ、事務局、そして各団体に加盟する企業及びマスコミ関係の方が約180名程集まり、昨年を上回る出席者数となりました。また、経済産業省及び国土交通省の方も来賓として参加すると同時に、SEMAアジアパシフィック代表による講演会も行なわれました。



現在 AAAL は SEMA の活動を参考に様々な活動を行っており、将来的には日本における SEMA を目指しています。その様な中で講演を頂くことで、今後業界団体及び業界、強いては加盟企業を発展させていく為のヒントになったのではないかと思います。

<報告会内容>

- 13:30～ AAAL 代表 住野公一 挨拶
- 13:35 経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 阿部 一也氏 挨拶
国土交通省 自動車交通局 技術安全部 整備課 課長補佐 春原 俊男氏 挨拶
- 14:00～ SEMA アジアパシフィック代表 リチャード・セイバトン氏
テーマ：SEMA から学ぶ米国自動車業界 PART-2
- 14:40～ 本年度の活動内容発表
- ・ コンプライアンス委員会 山田 守 (APARA)
 - ・ トренд開発委員会 西脇 和彦 (JAAMA)
 - ・ イベント委員会 中野 正裕 (NAPAC)
 - ・ 情報委員会 小野田 裕繁 (APARA)
 - ・ 環境委員会 木村 尚義 (JFA)



【 AAAL 代表 住野 公一コメント内容】

JAAMA のセミナー時、新車販売台数は 30 年前の台数となっている。自動車産業を日本の基幹産業とするのであれば、官民一体となって盛り返す事をしていかなければならないという話がありました。我々アフターマーケットは自動車産業の一角を担っており、自動車産業発展に寄与していかなければならないと考えています。今後会員企業数を増やし事業を活性化していきたいと考えています。



【 各委員会における 今期の活動報告】

コンプライアンス委員会

前期新設した「コンプライアンス憲章」に基づく議論及び情報共有など様々な取り組みを行なう。それにより、業界に対して良い影響力を発揮するための委員会活動を行なう。



トレンド開発委員会

トレンド開発ターゲットを設定し、それに向けた具体的なトレンド開発の提案を行なう。また、次世代商品開発のテーマを設定するとともに、ここのトレンド開発テーマの推進態勢づくり、他の委員会との共同活動の推進を行なう。



イベント委員会

構成団体間個別コラボレーションイベントについては作業部会を設立し、早期実現に向けた取り組みを行なう。アフターマーケットを包括するようなイベントについては実現可能な方策を検討していく。

情報委員会

各委員会の定例会議等に対する取材及びニュースリリースの発信など団体活動をアフターマーケット業界に PR するような活動を行なう。情報発信のツールとして昨年開設した WEB サイトを活用する。必要に応じて取り組み活動別の分科会を設置して活動を行なう。

環境委員会

各加盟団体における環境部会設置の検討及び、廃棄物処理工場や業者との情報交換・現場見学会の実施を行なう。また、リビルト・リユース勉強会の実施や、各団体・各企業の環境分類による環境活動の検討の実施を行なう。